

# 平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充

マスタープラン： 3つの挑戦 / 子育て

施策番号 3-3 . 3-4 .

局・課名： 教育委員会 学校指導課

事業名	英語教育推進事業	事業費(千円)	平成27年度決算額	平成28年度予算額	平成29年度要求額	
			150,551	155,405	155,425	
<b>【目的】</b> 児童生徒の英語力と教員の指導力向上を図るため、ネイティブ・スピーカー(NS)の英語に触れる機会を充実させ、生徒の「聞く」「話す」能力を養う。また、中学3年生と英語科教員に英語検定試験の受検料を合格者に補助することで、生徒と教員の英語力を高める。  <b>【内容】</b> 1. NSを活用した生徒の英語力向上と英語によるコミュニケーションの場の充実 ・配置期間を9月から翌年7月までとする。 ・NSを活用して、中学1、2年生の「聞く」「話す」の2技能を向上させる。 ・小学校にNSを5・6年各学級に年間12時間配置し、英語によるコミュニケーションの場の充実を図る。 2. 教員の意識改革・指導力向上に向けた実践研究と研修の充実 ・授業力向上研究指定校として中学校区2校を指定し、校区小学校で英語教育を推進する。(小学校5校) ・国委託の「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を活用して、教員研修を実施する。 ・英語教育コーディネーターを1名配置し、NSへの指導助言と研究指定校に訪問し、教員とともにチームティーチングを行う。 3. 英語検定試験受検料の奨励及び補助 ・英語科教員に対し、英検準1級の合格者に奨励金を支出する。 ・中学3年生に対し、英検3級の受検料を合格者に補助する。  <b>【今年度要求のポイント】</b> ○中学3年生のチャレンジテストのリスニング問題に対策として、NSの配置期間を9月からとする。小中一貫校、1小1中には小中学校で1名、その他の中学校には1名のNSを配置する。小学校はNS11名を配置する。 ○平成31年度から全国学力・学習状況調査が実施されるため、中学1年生からNSの英語を聴かせ、英語力を育む。 ○国の目標である英語力を達成させるため、英語科教員及び中学3年生に英語検定試験の受検料の補助を行う。	<b>債務負担行為</b>	期間	要求額(千円)			
	H29 ~ H30	81,000				
	<b>主な要求内容</b>		(単位:千円)			
	項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等		
	NS派遣委託料等	145,187	141,234	配置期間を9月から7月とし、小5・6各学級12時間配置、各中学校1名		
	プロポーザル選定委員報酬	62	102	10,200円×5人×2回		
	英語教育推進モデル校	394	825	報償費、出張旅費		
	外部専門機関連携(国庫委託)	1,852	1,910	文部科学省(英語指導力向上事業)		
	英語検定試験奨励事業(教員)		276	6,900円×40人		
	英語検定試験奨励事業(生徒)		1,020	3,400円×300人		
ピクチャーブック		2,790	3,000円×10冊×93校			
英語教育コーディネーター報酬等	3,424	3,510	報酬、通勤費、旅費			
堺高等学校ALT報酬等	3,828	3,758	報酬、通勤費、旅費			
英語能力判定テスト	658		3,000円×10冊×93校			
合計	155,405	155,425				
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>						
<b>【経過(～28年度)】</b> ・英語能力判定テストを研究指定校の中学校全学年で実施 ・研究指定校数の変更		<b>【29年度】</b> ・NSの配置期間の拡充 ・英語検定試験受検料の補助 ・国の方向性に沿った指導力向上のための教員研修の実施		<b>【今後予定(30年度～)】</b> ・小学校NSの配置の拡充 ・新学習指導要領への対応		
<b>その他 特記事項</b>						
みんなの審査会対象外 関連事業：						

整理番号： 38 - 1 - 0080